

健康・医療戦略担当大臣賞

多剤耐性肺結核治療薬デラマニドの開発

<受賞者>

大塚製薬株式会社

<功績>

大塚製薬株式会社は、既存の結核治療薬では治療の困難だった多剤耐性結核菌に対して有効なデラマニドと呼ばれる新薬を開発し、世界の結核・感染症対策に多大な貢献を果たした。

<概要>

全世界における死亡原因のうち、感染症が約4分の1を占めているが、その中でも結核は最も死亡者数が多い単一の感染症である。近年では、既存の結核治療薬に耐性のある多剤耐性結核菌の出現が、治療をより困難にしている。

このような中、大塚製薬では、1980年初頭より抗結核薬の研究に着手し、2001年に抗結核作用を有する新規誘導体であるデラマニド (Delyba®) の発見に至った。基礎評価試験の結果、デラマニドは、既存の抗結核薬に耐性となった結核菌に対しても、薬剤感受性結核菌と同様に強い効力を示した。

デラマニドは、成人の多剤耐性肺結核患者に対する治療レジメンとの併用薬として、2014年4月に欧州医薬品庁 (EMA) より販売承認を取得し、2014年には世界保健機関 (WHO) からその使用指針が発行された。2015年にはWHOが発行する必須医薬品リスト (WHO Model List of Essential Medicines) に記載され、既に50を超える国々で使用が推し進められている。日本においても2014年7月承認済。

<参考>

WHO Model List of Essential Medicines

20th List
(March 2017)

Status of this document
This is a reprint of the text on the WHO Medicines website
<http://www.who.int/medicines/publications/essentialmedicines/en/>

The use of delamanid in the treatment of multidrug-resistant tuberculosis in children and adolescents
Interim policy guidance



FIGHTBACK™
TB innovation for tomorrow

NEWS RELEASE

2016年2月25日

報道関係各位

【医薬品】抗結核薬供給の提議に関するお知らせ

大塚製薬とストップ結核パートナーシップ¹⁾の世界抗結核薬基金 (GDF)²⁾ 世界でのデラマニド供給についての合意を発表

- GDFから抗結核薬の供給を受けている100以上の国に対し、今回の連携 (官民パートナーシップ) で新規多剤耐性結核治療薬であるデラマニドを供給できる体制を構築する
- 今回の官民パートナーシップはデラマニドを既存の多剤耐性結核治療プログラムに適切に組み入れるための支援を実施する
- 多剤耐性結核は毎年48万人が罹患し、その治療成功率はわずか50%で、依然として世界的な健康上の課題である³⁾

